授業科目名・形態	人間の理解Ⅰ　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	藤田　博章	実務経験の有無	有	開講期	1年前期
科目ナンバリング	W3-1005cR				

【授業の主題】

人間を理解する上で「人間の尊厳」は最も重要なことであり、自立・自律した生活を支えるためには尊厳の保持が基本的に必要となる。人間の尊厳・人権尊重、権利擁護の考え方が自立や自律した生活を支える為になぜ必要か。本講は、尊厳と自立・自律をめぐる歴史としくみ、介護場面での倫理的課題などについて講義を通して学ぶ。介護福祉士やソーシャルワーク実践を行う社会福祉士と精神保健福祉士が福祉の倫理的課題へどのように対応していくか、その能力の基礎を養うことを目的とする。

【到達目標】

1）人間の尊厳と自立の意義について、自己決定ならびに自立と自律との違いから確認できる。
2）人権思想・福祉理念の歴史的変遷について、歴史的事象や介護保険法・障害者総合支援法から確認できる。
3）介護場面における自立支援について、本人主体と自己決定の観点から確認できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション・人間を理解するということ
第 2 回　人間の尊厳と利用者主体
第 3 回　人権思想の潮流とその具現化
第 4 回　人権や尊厳に関する日本の諸規定
第 5 回　社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷―人は人をどう援助しようとしてきたか
第 6 回　社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷―戦後の新たな福祉のあり方
第 7 回　人権尊重と権利擁護
第 8 回　介護保険法における尊厳と自立を考える
第 9 回　自立の概念の多様性
第10回　介護を必要とする人々の自立と自立支援
第11回　介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係性
第12回　利用者の自立支援について考える
第13回　人間の誕生と介護の関係・自分と他者の理解
第14回　心理学からみた人間関係とストレス
第15回　まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義で行う。

【事前・事後学習】

講義内容に関する事前学習を毎回2時間以上行うこと。授業前に該当箇所を読んで、分からないことを明確にしておくこと。また、学習を通じて自己のコミュニケーションに関する苦手なことを認識していくこと。講義内容を踏まえ、復習を毎回2時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

コミュニケーション技術Ⅰ・Ⅱ、介護の基本Ⅰ～Ⅵ、介護過程Ⅰ～Ⅴ、生活支援技術論Ⅰ・Ⅱ、日常生活支援技術演習Ⅰ～Ⅹ、福祉経営論　など

【教科書等】

最新　介護福祉士養成講座１　人間の理解（第２版）、中央法規、2022.

【参考文献】

必要に応じて、授業の中で適宜提示する。

【成績評価方法】

授業の参加態度（主体的な授業参加度を重視する）10%、定期試験 80%、提出課題・レポート 10%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

地域包括支援センターや障害者就労支援施設、障害者グループホームでの支援の実践の経験からクライエントの人権や尊厳について理解し、「人間とは何か」「支援とは何か」を考察していきたい。

【学生へのメッセージ】

人間の人権や尊厳とは何か、自立・自律した生活とは何かを新聞やニュースなどを通して、普段から深く考えるようにして下さい。介護福祉士、社会福祉士の国家試験の問題も少しずつ触れ、大学卒業後の実践に役に立つことを講義します。この科目は、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士を目指す方の土台となる基礎の大切な科目です。